

## 6. 勉強会実績

### 6.1 第1回勉強会

- [日時] 2013年5月28日(水)13:30~17:15  
[場所] 国際水産資源研究所会議室さくら  
[参加者] 森下, 竹内, 伊藤, 阿部, 金岩, 清藤, 仙波, 境, 福田, 松本, 藤岡, 井上, 中東, 岡本, 井嶋, 鶴岡, 平岡  
[発表題名] 1. 太平洋クロマグロまき網について 東京農業大学 金岩稔  
2. 北太平洋ヨシキリザメはえ縄について くらまぐろ資源G 平岡優子

### 6.2 第2回勉強会

- [日時] 2013年6月6日(水)13:30~17:15  
[場所] 国際水産資源研究所会議室さくら  
[参加者] 伊藤, 松本, 石田, 福田, 岡本, 徳田, 木元, 清藤, 境, 鶴岡, 中東, 井上, 仙波, 平岡  
[発表題名] 1. ミナミマグロのはえ縄 CPUE 温帯性まぐろ G 伊藤智彦  
2. 竿釣漁業の特徴と標準化 CPUE の推定 かつお G 清藤秀理

### 6.3 第3回勉強会

- [日時] 2013年6月19日(水)13:30~17:15  
[場所] 国際水産資源研究所会議室さくら  
[参加者] 市野川, 甲斐, 竹内, 伊藤, 福田, 藤岡, 植松, 井嶋, 石田, 木元, 境, 鶴岡, 大島, 平岡  
[発表題名] 1. クロマグロの曳き縄 CPUE 中央水研 市野川桃子  
2. 定置網漁業で漁獲された太平洋クロマグロの資源量指数  
まぐろ漁業資源 G 甲斐幹彦

### 6.4 第4回勉強会

- [日時] 2013年10月4日(金)13:30~17:15  
[場所] 国際水産資源研究所会議室さくら  
[参加者] 宮部, 伊藤, 奥田, 村瀬, 西田, 鶴岡, 勝又, 徳田, 鄭, 石田, 井嶋, 甲斐, 仙波, 井上, 藤岡, 中東, 大島, 福田, 宇山, 平岡  
[発表題名] 1. 底魚漁業(クサカリツボダイ・キンメダイ)の CPUE 標準化について  
外洋生態系 G 奥田武弘  
2. ハビタットモデルにおける CPUE の扱い  
鯨類資源 G 村瀬弘人 くらまぐろ資源 G 大島和浩

6.5 勉強会で紹介された標準化手法の概要

漁法	はえ縄		竿釣り		曳縄			巻き網	定置網	底びき網
魚種	ミナミマグロ	ヨシキリザメ	カツオ	ビンナガ	クロマグロ					クサカリツボダイ
主な操業(水揚げ)地域	南半球 (CCSBT海域)	北太平洋	北太平洋		長崎	高知	和歌山	境港	日本沿岸	天皇海山
重量度 (資源量指数か否か)	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○
モデル	ログノーマル	負の二項分布	デルタ型二段階		ログノーマル	ゼロ過剰	ゼロ過剰	標準化していない	負の二項分布	ログノーマル
応答変数	5x5xMonthのCPUE	ShotxshotのCatch	1日1隻1人当たりの漁獲量		1日1隻当たりの漁獲量	1日当たりの漁獲量(整数に変換)	1日当たりの漁獲量(整数に変換)	1日当たりの水揚げ量	Catch	CPUE (日別漁獲量/曳網時間)
努力量	鈎数	鈎数	竿数		隻数	隻数	隻数	-	定義なし	曳網時間
説明変数	Year, Month, Area, Lat5, BET_CPUE, YFT_CPUE, 交互作用	Year, Qt, Area, Target, Gyoyoucode, 交互作用	YearQtr., LatLon(5x5), VesselID, 装備(大型船のみ)	Year, Month, LatLon(5x5), skjratio	Year, Month, Port, 交互作用	Year, Season(Gro uped months), Port for nb, Season for zinb	Year, Month, Port, 交互作用	-	Year, Month, Area, 交互作用	Year, Season, Area, 交互作用
フィルタリング(データ抽出)	コア船のみ	浅縄操業かつ有漁率94.6%以上	5年間で10日間以上操業している船		場所により使う月を変える	努力量10以下は除く	3-6月は除く	-	サイズを2kg以下と2-9kgに分けて標準化	天皇海山海域のみ(ただし除去率は1%以下)
現状の問題や改善策など	AreaとLatitudeなど同じような説明変数が入っている部分は改善が必要?	ターゲット効果の入れ方。混獲なので漁業データの信頼性の担保	カツオからビンナガへのターゲットの変化		ゼロキャッチがない	ゼロ過剰	ゼロ過剰	ノミナルCPUEが資源を表していると仮定出来そうだが、資源量指数として使うにはサイズなどを揃えろといった工夫が必要	努力量を入れたり、コアエリアを絞れば指標として使えるかもしれない	卓越年級群の効果はどう取り扱うか

-----  
2015年3月 発行

課題代表者: 平岡優子(くろまぐろ資源グループ)  
課題参画者: 竹内幸夫(くろまぐろ資源グループ)  
仙波靖子(まぐろ漁業資源グループ)  
清藤秀理(かつおグループ)  
伊藤智幸(温帯性まぐろグループ)  
奥田武弘(外洋生態系グループ)

発行 独)水産総合研究センター  
国際水産資源研究所  
〒424-8633 静岡県静岡市清水区折戸 5-7-1